

第 20 回丸亀城石垣崩落対策本部会議録

1 開催日時 令和2年1月7日（火）午前10時30分～午前11時10分

2 開催場所 本館3階「特別会議室」

3 議 事

(1) 丸亀城石垣復旧専門部会での審議の報告について（工事分科会）

① 切土勾配検討結果と工事方針(案)について

- ・12/7 開催の丸亀城石垣復旧専門部会 審議事項について報告する。
- ・三の丸、帯曲輪石垣で30mを超える切土を行う。土の物性を知るため土質試験を行った。1箇所、試験結果が出ていない箇所があり、その結果を見て最終判断をするという条件付きで、最小値の採用で了承を得ていたが、後日、傾向が大きく異なる調査結果が出たため、専門部会 部会長・副部会長に報告。協議を行い、委員から了承を得た後、3つの調査箇所の平均値を採用することとした。
- ・切土勾配の安全率を計算したところ、対策工法なしではすべりが発生する結果となった。
- ・対策工法は「鉄筋挿入工」「グラウンドアンカー工」「親杭矢板工」がある。比較検討した結果、総合評価として「グラウンドアンカー工」に決定した。
- ・対策工法は、石垣復旧専門部会、丸亀城跡調査整備委員会委員長に了承を得ている。

② 石垣復旧に伴う文化財調査の方法について

- ・「石垣解体」「えぼし石垣解体」「崩落石材回収」の調査フロー図を作成した。
- ・応急対策工事で埋没石垣が出現したが、更に出現する可能性があるので、調査を行う予定としている。
- ・石垣基底部（根石）発掘調査について、根石の残存状況、基底部の破損、変形状況等、基底部の構造を調べる調査を行う。

③ 新補石材の選定方針（案）について

- ・石材評価を行い判定する。新補石材について、目の荒さ、色味等、選定基準を設ける。丸亀城の石垣に使用されている石材について、具体的な産地を示す文献史料は確認されていないが、丸亀城の石垣石材は、瀬戸内地域の花崗岩の一部と共通項をもつので、新補石材の調達地は瀬戸内産に限定して検討をすすめる。

→これだけの業務で工程に影響はないという理解でいいか。工事に影響しないよう、

早めの対応を。(副市長)

- ・努力する。

→グラウンドアンカーを打ち込んで、埋没石垣は大丈夫か。(市長公室長)

- ・埋没石垣の延長が出ている。推定位置に影響しないようにアンカーを打ち込む。
工法は文化庁に説明し、了承を得ている。

→推定しているところ以外に埋没石垣がないという考えか。(こども未来部長)

- ・地中なのでわからない。

(2) 本格工事の工程表 (H30. R1) 事業 (工事分科会)

- ・三の丸石垣解体のため、西面に足場を組んでいる。高さ 2.5m 分の石垣を解体しながら掘削し、アンカーを設置。繰り返しの作業を行い 7 月末に終わる予定となっている。

→何段アンカーを打つか (市長)

- ・6 段になる。

(3) その他

① お城まつりの石垣ブースについて (広報分科会)

- ・市民の関心が高く、次回のお城まつりも芝生広場で開催したい。

→承認

② 丸亀城石垣崩落対策本部の組織見直し (工事分科会)

- ・PR 館の現状報告と組織の見直しを提案する。
- ・PR 館 入場者集計 12 月 2,451 人、募金額 23,820 円。
1 月 1 日から 6 日まで 1,411 人、募金額 104,202 円。
- ・文化財保存活用課が新設された。組織見直しの検討課題として、分科会の数・役割分担の整理、PR 館の運営・展示の分担、イベント企画等、文化財保存活用課、秘書政策課、広聴広報課、産業観光課で原案を作成し、次回の本部会に諮りたい。

→承認

4 出席状況

(1) 本部構成者 (第 3 条)

職	氏 名	出欠
市 長	梶 正 治	○
副 市 長	徳 田 善 紀	○
教 育 長	金 丸 眞 明	○

モーターボート 競走事業管理者	大 林 諭	欠
市 長 公 室 長	横 田 拓 也	○
総 務 部 長	栗 山 佳 子	○
健康福祉部長	宮 本 克 之	○
こども未来部長	石 井 克 範	○
生活環境部長	小 山 隆 史	○
都市整備部長	吉 本 博 之	○
産業文化部長	山 地 幸 夫	○
ボートレース 事 業 局 次 長	矢 野 浩 三	○
教 育 部 長	川 田 良 文	○
消 防 長	田 中 道 久	○
議会事務局長	渡 辺 研 介	○

(2) 関係職員

市長公室職員課長	井 上 孝 敏
市長公室秘書政策課長	窪 田 徹 也
市長公室秘書政策課副課長	谷 本 智 子
市長公室秘書政策課政策推進担当長	野 本 政 宏
市長公室秘書政策課主査	宇 野 大志郎
総務部財務課長	宮 西 浩 二
市長公室広聴広報課長	七 座 武 史
産業文化部産業観光課長	林 裕 司

(3) 事務局

教育部参事	谷 口 信 夫
教育部文化財保存活用課副課長	東 信 男
教育部文化財保存活用課丸亀城管理室長	上 甲 育 司
教育部文化財保存活用課丸亀城管理室主査	真 鍋 和 江